

高松学習館運営協議会（令和5年2月）会議録概要

開催日時 令和5年2月22日（水曜日）午前9時30分～午前11時30分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

山口聡子（青少年健全育成曙町地区委員会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

橋本登（立川市市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ おはようございます。今日は令和5年度事業についても検討していきたいと思います。

2. 報告事項

- ・誰でもコンサートの共催（3/11 幸学習館）について

幸学習館の柳係長よりコンサート実施の経緯や今年度の実施概要について説明があった。一般募集枠と第八小学校の児童と保護者の募集枠を設けている。当日は午前には開場設営準備を職員で行い、午後には地運協委員には受付と誘導をお願いしたい。コンサート実施に併せて東日本大震災の展示（3/3～3/12）を実施することになっている。委員より質問と意見があった。

- ・当初会場として検討していた第八小学校の体育館は毎週土曜日に科学教室を実施するということで使用できないということだが、来年度以降に向けて、子ども達に夢を与えていくこのような事業企画を継続していく方向なら、学校との調整を前年からきちんとしていくことがいいと思う。学社一体ということで学校行事に近いような扱いにしてもらえるように働きかけていくことが大切だと思う。PTAや地域学校ボランティア（指導員）の協力を得て一緒に動ければ広がっていくのではないかと思う。
- ・当日スタッフとして、高松学習館運営協議会からも委員が参加することになった。梅田会長、難波副会長、吉田委員、結城委員の4名。
- ・事務局より下記について報告があった。
 - ・「たかまつ映画会」（2/8 実施）について
来場者 43名だった。戦争という重いテーマのためアンケートで意見が分かれた。当日スタッフの委員より意見と感想があった。
 - ・今回も申込がすぐいっぱいになって参加できない人が多かった。作品の

選定については予算内での配給元からの作品リストは限られているので厳しい。今回は戦時中のスパイというテーマで暗い内容になった。

- ・正義を問う見応えのある作品だった。上映時間は2時間あったが、全員ずっと見入っていた。
- ・上映作品の選定について配給元からの提供作品に限りがあるのなら、例えば、図書館と共催でDVDを借りて上映するなど工夫できないか。
- ・「フレイル予防体操」(2/2・2/16実施)について
参加者は延べ37名だった。アンケート集計結果は好評だった。講師は丁寧
に指導してくれるので大変好評で来年度も実施する方向。

3. 協議事項

(1) 前回議事録(案)について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・令和4年度地域活性化事業の実施状況と生涯学習推進計画対比表について確認した。今後も施策目標の項目に沿って企画立案し実施していく。
- ・令和5年度地域活性化事業について
 - ・文化祭作品展・地運協ワークショップについて
前回の会議で協議した企画内容について協議した。
 - ・市民リーダーの紹介パネル展示を実施する。難波副会長が対応。
 - ・地域福祉コーディネーターの紹介展示と相談コーナーを設置する。
吉田委員が対応。
 - ・ワークショップ(千代紙人形づくり)講師謝礼についてきちんと支払いをすることが妥当と思われる。事務局で対応することになった。
 - ・お菓子等は社会福祉協議会や自治会連合会の協賛を募るのはいかがでしょうか。
 - ・学習館利用サークルの活動は復活してきているが、解散したサークルもある。作品展の参加サークル数と来場者数は感染症の影響もあって減ってきている。
 - ・作品展自体のPRを地域向けにもっとすべきである。
 - ・学習館でイベントを開催しているということが外部に伝わるように外で何かをやったりイベント案内を正面に大きく掲示し、奥まで誘導するなど工夫が必要だと感じる。
 - ・子ども中心のメニューがあると親子、家族で足を運んでくれる。
 - ・自治会連合会を巻き込んで地域と一緒に開催していけるといいのではないか。
 - ・高松ならではの特徴があるといい。委員一人一人が優れた地域コーディネーターとして横の連携をとりながら外に向けてこういうことをやっているということがわかっていくと活動が広がっていく。
 - ・東京学芸大学のたかまつりの時のように外に向けての仕掛けが必要だと思う。
 - ・東京学芸大学の方にも文化祭の案内をして学生さんに自主的に学習館に顔を出してもらって慣れてもらえば共催事業に上手くつながってい

くのではないかと思う。

- ・従来のやり方にとらわれず、いろいろなことに挑戦していくといい。
- ・前回のようによくロビーで動画を流すと来館者の目に留まる。
- ・参考までに、昭島会議というリモートで中高生や大学生が意見を出し合って企画に参加しイベントに直接参加していくことになった事例も聞いている。
- ・作品展の宣伝をもっとやってほしい。

・防災講座について

講師を依頼する立川災害ボランティアネットとのうち合わせに基づき、事務局で企画を提案した内容について協議した。

- ・日程：10月7日、21日（土）午前
- ・対象：一般（情報が得られない方、年齢は問わない）
- ・内容：防災まち歩きと座学（在宅避難、在宅の備えについての話）の2回講座（どちらか1回参加も可とする）
- ・講座タイトル：防災という言葉がつくと敬遠されがちなので今後検討していく。（お散歩がてら…）
- ・雨天決行なのかどうか。雨天時は室内で代わる内容を準備するなど確認をしておく。
- ・講師側と相談をしながら進めていくことになった。

・その他の企画案について

次回の会議で企画案を持ち寄ることになった。

・令和5年度地運協交流会の企画（2月）について

前は西砂で学社一体、地域学校コーディネーターについての話が中心だった。今回は高松が担当になっているので企画内容について今後協議していく。日程は2月土曜の午後ということで、17日が候補日として挙がった。

(3) その他

- ・ 次回の開催日：3月22日（水）午前9時30分～11時
- ・ 地運協委員について事務局より報告があった。青少年健全育成高松町地区委員会より選出の委員が多忙のため4月以降を目途に交代する予定。
- ・ 青少年健全育成曙町地区委員会について、自治連支部から選出していただくことも検討したらどうかという意見があった。

4. 地域課題共有

- ・ 社会福祉協議会より 3/9（木）11時～包括支援センター・にんじんの交流スペースで〇円マーケットを実施する。

以上